

編纂後記

平成17年2月13日、中津川市・恵那郡北部町村・長野県木曾郡山口村の1市7町村の合併により新たな中津川市となりました。今回の「平成の大合併」においては全国で唯一の「越県合併」となり、また一つの地方公共団体が二つの「合併協議会」を設置して合併協議を実施したことも特筆すべきことでもあります。長い歴史を持つそれぞれの町村を廃して中津川市へ編入合併するという歴史的な決断から、合併に至るまでの経緯について記述しておくことが、新たな中津川市に対して理解を深めることにつながると考え「新中津川市の誕生～平成の市町村合併記録～」としてまとめました。

もとより記録とは「のちのちに伝える必要から、事実を書き記すこと」であり、将来において過去を紐解く材料となるものであり、そのためいろいろな出来事を可能な限り正確に記述し、主観的な視点や将来への言及を避けて編纂しました。

ただ、紙面・時間の関係等から詳細なところまで掲載し切れなかったことや関係各種資料の添付が少なくなってしまったこと等が反省点となりました。また、編纂にあたっては、当時職員として合併協議を中心的に担っていた11名の編纂委員により作業を行いました。なにぶん不慣れなため不十分なところが多々ありますが、中津川市定住推進部のご指導をいただきまして、このたびようやくまとめることができましたこと編纂委員一同深く感謝しています。

本誌が市町村合併の記録としてだけでなく、合併という歴史的な瞬間に立ち会った市民の皆さまの記憶の補完になれば幸いです。

令和4年3月

平成の市町村合併記録編纂委員会
委員長 三浦 博行

編纂委員

	氏名	当時の役職等
委員長	三浦 博行	中津川市 市長公室長
副委員長	木村 修	合併協議会事務局長（中津川市）
副委員長	齊藤 信広	山口村総務課長
	加藤 文明	坂下町企画財政課長
	原 晴彦	川上村総務課長
	古田 徹	中津川市・恵那郡北部町村合併協議会事務局次長（加子母村）
	三浦 源三	中津川市・恵那郡北部町村合併協議会事務局次長（付知町）
	丹羽 利幸	中津川市・恵那郡北部町村合併協議会事務局次長（福岡町）
	安江 春樹	中津川市・恵那郡北部町村合併協議会事務局員（蛭川村）
	桃井 みどり	合併協議会事務局員（中津川市）
	谷口真二郎	中津川市・山口村合併協議会事務局員（中津川市）

事務局

総括	伊藤 恵之	中津川市定住推進部長
総括補佐	楯 京子	中津川市定住推進部定住推進課長
記録	大野 清乃	中津川市定住推進部定住推進課 主任

合併の変遷



尾張藩	中津川村	明治22年 町制施行 →中津川町	明治30年4月 合併→中津町	昭和26年4月合併→中津川町	昭和27年4月市制施行→中津川市	新中津川市誕生 平成17年2月13日
	駒場村					
	手賀野村					
苗木藩	日比野村	明治7年9月 改称→苗木村	明治22年7月 合併→苗木村			
	瀬戸村	明治8年1月 合併→瀬戸村	明治23年10月 町制施行→苗木町			
	上地村					
尾張藩	茄子川村		明治30年4月 合併→坂本村			
	千旦林村					
尾張藩	落合村					
岩村藩	阿木村		明治30年4月 合併→阿木村			
	飯沼村					
尾張藩	湯舟沢村	明治7年9月 合併→神坂村			昭和33年10月15日 分村→神坂村 (湯舟沢地区が中津川市と合併)	
	馬籠村					
尾張藩	山口村	明治7年9月 田立村と合併→山田村			昭和33年10月14日 分村合併→山口村 (峠・馬籠・荒町の3地区が山口村と合併)	
		明治14年2月 分村→山口村				
苗木藩	坂下村		明治22年7月 合併→坂下村	明治38年7月 分村→坂下村	明治44年1月 町制施行→坂下町	
	上野村					
尾張藩	川上村			明治38年7月 分村→川上村		
尾張藩	加子母村					
尾張藩	付知村		明治30年4月 町制施行→付知町			
苗木藩	福岡村		明治22年7月 合併→福岡村	明治30年4月 合併→福岡村	昭和41年4月 町制施行 →福岡町	
	高山村					
	田瀬村					
天領	下野村					
苗木藩	蛭川村					

発行 令和4年3月
中津川市

〒508-8501 岐阜県中津川市かやの木町2番1号
TEL.0573-66-1111(代)
<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/>

令和3年度岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を活用して作成しています